

2024年8月13日

各位

会社名 株式会社 JDSC
代表者名 代表取締役社長 加藤 聡志
(コード: 4418、東証グロース)
問合せ先 取締役 CFO 作井 英陽
(TEL. 03-6773-5348)

通期連結業績予想と実績との差異及び前期実績との差異に関するお知らせ

当社グループは2024年6月20日に公表しました2024年6月期の通期業績予想の修正と、本日公表の実績に差異が生じたのでお知らせいたします。

また、当社グループは2024年6月期の業績の実績につきましても、前期実績との間に差異が生じたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 2024年6月期通期連結業績予想と実績との差異 (2023年7月1日~2024年6月30日)

(単位: 百万円)

	売上高	営業利益	EBITDA
前回発表予想 (A)	16,000	30	145
実績値 (B)	16,457	50	166
増減額 (B-A)	457	20	20
増減率 (%)	2.9	66.7	14.5

差異の理由

売上高は既存顧客との取り組み継続および新規顧客の開拓のいずれについても想定通りに進捗したことにより、業績予想を上回る結果となりました。また、個別のプロジェクトの収益性や、人材採用ペース及び人材紹介エージェントへの支払いフィー、その他の諸経費等について、保守的な想定を置いて予想数値を算出しておりましたが、全社的なコスト管理の徹底等により、各利益は業績予想を上回る結果となりました。

2. 2024年6月期通期業績の前期実績との差異（2023年7月1日～2024年6月30日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	EBITDA	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前期実績 (A)	1,939	68	112	112	1	9銭
実績値 (B)	16,457	50	166	△12	△278	△21円 03銭
増減額 (B-A)	14,518	△18	54	△124	△277	△21円 12銭
増減率 (%)	748.5	△26.5	48.2	—	—	—

差異の理由

2023年10月2日にメールカスタマーセンター株式会社を買収し、当会計年度の第2四半期より財務諸表を連結会計に取り込んだため、売上高及びEBITDAにおいて増加する結果となりました。営業利益については、新規プロダクトの創出、研究開発、人材採用といった先行投資を引続き積極的に進めた結果減少し、経常利益については、持分法による投資損失の計上及び2024年1月5日開示の「(開示事項の経過) 資金の借入れに関するお知らせ」に係る支払手数料を計上したことにより減少しております。親会社株主に帰属する当期純利益については、のれんの減損損失の計上及び法人税等調整額の計上により減少しております。詳細については、2024年8月13日開示の「営業外費用、特別損失及び法人税等調整額の計上に関するお知らせ」をご覧ください。

以上